

港区立筈小学校
令和6年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>○目的に応じ、順序やまとまりを考えて情報を整理し、自分の思いや考えを適切な言葉で表現する力</p> <p>○語、語句、語彙</p> <p>○表現の工夫</p>	<p>○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力が弱い。</p> <p>○語彙力が低く、自分の考えを分かりやすく伝える力が弱い。</p>	<p>○朝の会や授業の導入時に1分間スピーチの時間を設けたり、ペア学習やグループ学習で自分の考えを伝え合ったりする機会を設ける。</p> <p>○語、語句クイズの時間を設ける。また、その時分からなかった語や語句を調べてまとめ、教室や廊下に掲示する。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<p>○資料から読み取ったことを様々なことと関連付けて考える力。</p> <p>○学習したことから主体的な社会との関わり方を考える力。</p>	<p>○資料から読み取ったことを、地域の人々、国民の生活と関連付けて考える力が弱い。</p> <p>○学習したことを基に自分の生活との関連を考え、自分にできることや大切なことを考え表現する力が弱い。</p>	<p>○教材や資料を準備する際に、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係を問う視点を意識させる。その資料を使用し、国民の生活と関連付けて考える活動を設定する。</p> <p>○社会的事象の仕組みや働きを学んだ上で、自分たちはどうすればよいか、これからは何が大切かなどの問いを設けて考え、表現する活動を単元の最後に取り入れる。</p>

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<p>○円グラフや帯グラフの特徴を理解する力。</p> <p>○図形を構成する要素に着目しながら、立体図形を見取り図で表す力。</p>	<p>○円グラフや帯グラフの特徴を理解する力が弱い。</p> <p>○立体図形を見取り図で表す力が弱い。</p>	<p>○他教科との関連も図りながら、目的に応じたグラフを用いて整理したり考察したりする力を育てていく。</p> <p>○いろいろな形や大きさの模型や実物の観察、作図の練習などを通して、実感的に理解して表現する力を育む。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>○問題を見出し、計画的に観察・実験を行い、問題解決する力。</p> <p>○学んだことを自然の事物・現象や日常生活に生かそうとする力。</p>	<p>○学習したことや観察・実験結果を基に、自分の言葉で説明したり考察したりする力が弱い。</p> <p>○知識として事実を知っていることが多いが、実体験や日常生活に結び付ける力が弱い。</p>	<p>○観察・実験の目的を明確にし、考えるポイントを明らかにして行う。また、個人で考える時間を増やし、自分の言葉を整理できる時間を設ける。</p> <p>○子どもが知っていることを実体験で学ぶことができる機会を多く作る。また、単元の導入において、日常生活と自然事象を結び付けて展開させる。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<p>○自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさに気づき、生活上必要な技能を身に付ける力。</p> <p>○身近な人々、社会を自分との関わりで捉え、自分自身の生活について考え、表現する力。</p>	<p>○学校周辺で自然と触れ合える場が多くはないため、四季の変化を身近に感じたり触れ合ったりする機会が少ない。</p> <p>○目的意識をもって活動に取り組むことが苦手な様子が見られる。また学んだことを自分と関係付けて表現する力が弱い。</p>	<p>○身近な場である校庭で動植物に関心を向ける時間を設定したり、一人一鉢を所有して、植物を育てる活動をしたりして、自然と関わりをもつ機会を設ける。その体験から地域の公園や外出先で自然に目を向けられるようにしていく。</p> <p>○学習のめあてをしっかりとめさせて、活動の目的を明確にする。学んだことを絵や言葉で表現し、身近な人に伝える時間を設ける。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<p>○思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付ける力。</p> <p>○曲や演奏のよさを見出しながら音楽を味わって聴く力。</p>	<p>○思いや意図を実現するために、どのような技能を用いるか判断し表現する力が弱い。</p> <p>○曲の特徴を見出しそれを味わいながら聴く力が弱い。</p>	<p>○これまでに身に付けた技能を生かすことができるよう、易しいリズムや旋律から徐々に難易度を上げ、継続的に取り組める活動をする。</p> <p>○曲想や音楽の構造とその関わりについて気付くために身体表現や音楽の構造を可視化するなどし、児童が興味をもって聴けるよう工夫する。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<p>○創り出す喜びを味わい、生活や社会と豊かに関わる態度を育成する力。</p> <p>○「造形的な見方・考え方」を働かせる力。</p>	<p>○生活体験の個人差が大きく、道具等の扱いや、素材に触れる等実体験が乏しい。</p> <p>○外国籍や海外で生活していた児童など様々な価値観のよさを生かし、互いに学び合える意識がまだ十分でない。</p>	<p>○道具等の扱い方について、基礎・基本をていねいに説明し、実体験を通した指導を繰り返す。</p> <p>○自分の生活につながり、愛着をもてる課題を設定する。</p> <p>○日本や諸外国の文化を大切に、造形的な活動の中で学び合いの機会を設定する。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<p>○よりより生活をするための工夫や実践的な活動をする力。</p> <p>○制作や実習を通して技能を身に付けさせ、生活に役立てる力を育成する。</p>	<p>○生活体験の個人差が大きい。調理道具や裁縫道具の扱いに関して、実体験が乏しい児童が多い。</p> <p>○家庭生活を営むうえで、家族の一員として家庭の仕事を担っていく必要があるという意識が薄い。また、授業で学習したことを実際の家庭生活に生かすことができていない。</p>	<p>○裁縫や調理などの実習を行う際には、実際に行う時間に向けた準備、計画を詳細に行う。また、活動の意義を児童が考えたり、きまりを守ることの必要性について考えたりする時間を設ける。</p> <p>○ペアやグループで協力して調理や製作を行う。グループの中で平等に役割分担を行い全児童が技術を身に付けることができるよう指導を行う。また、片付けまでしっかりと作業をさせる。また、必要に応じて家庭との連絡も密にとる。</p>

	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全への理解と、基本的な動きや技能。 ○運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力。 ○運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ○長座体前屈について、全国平均と比較して下回っている学年があるため、柔軟性を高めること。 ○50m走について、全国平均と比較して下回っている学年が多いため、短距離走を中心に走・跳の運動(遊び)や陸上運動を充実させること。 ○低学年において、記録が全体的に全国平均を下回る傾向が見られるため、運動の行い方を理解し、基本的な動きや技能を身に付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「体づくり運動」を中心として体の柔らかさを高める運動を積極的に行う。教員の研修を校内で行い、実現できるようにする。 ○地面からの反発を利用した走り方について指導するとともに、自分の走り方を動画で撮影して振り返ることができるようにするなど、ICT機器を活用する。 ○体育の授業の充実をはじめ、体育朝会、各種体育的行事、休み時間等を計画的に進め日常的に運動ができるようにする。 ○運動の行い方について十分理解して取り組むことができるよう、掲示物など視覚情報を用いるとともに、児童同士が互いに関わり合いながら運動できるようにする。 ○友達や仲間とともに楽しく運動を行えるよう、言語環境を整える。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<ul style="list-style-type: none"> ○相手意識をもち、既習表現を組み合わせ、会話する楽しさを味わえる力。 ○自己の課題を踏まえ、自分に必要な学習を選択し、語彙力や書く力を高めようとする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えと、既習表現を組み合わせ、相手に分かりやすく伝えようとする力が弱い。 ○相手の話に対して相槌を打って聞いたり、反応したりしながら聞く力が弱い。 ○自己の課題に合わせて、必要な学習を選択する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで会話をしたいと思えるような単元のゴールを示したり、会話をする必然性を実感させたりする。 ○一人一人の発話量を確保できるよう指導計画に会話の活動を設定する。 ○相手意識をもった会話の手本を示した上で十分な会話時間を確保し、相手意識をもって会話することを価値付ける。 ○歌やフォニックスを取り入れ、既習表現を定着させる。(低学年、中学年) ○ヘッドセットなどのICT機器を活用し、自己の課題に合わせて学習活動を選択できる「My Practice Time」を導入する。(高学年)

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性。 ○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの場面では、自分の意見を発表できないことがあり、発表者が限られてしまうことがある。 ○「分かっているのにできない」というギャップに気付くことができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決学習を通して、問題や課題を主体的に解決するために必要な素質を養う。その際に、役割演技などの体験的な学習を通して、道徳的価値を実現するための能力を養う。 ○毎授業で、取り扱った内容や自分の考えを振り返る時間を確保する。今の自分を振り返り、その時間に学んだ価値が自らの生活にどのように結び付いているか考えさせる。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○多様な相手と協働して活動する意義を理解し、課題を解決するために話し合い、合意形成を図り実践していく力。	○課題解決のための話し合いが自分中心になり、集団として折り合いをつけて合意形成する力が弱い。	○互いのよさや可能性を考えながら、集団や自己の生活上の課題を解決できるよう学級活動等を通じて指導していく。 ○異学年交流や児童会活動、クラブ活動を通して、一人一人が活躍できる場を設定していく。その際に、児童同士のがんばりやよさに注目できるように指導する。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	○地域の人・もの・ことに関わる探究的な学習を通して、課題を解決する力。 ○自己の生き方を考えることができるようになるための力。	○自らすすんで課題解決していこうとしたり、見通しをもって追究したりする力が弱い。 ○調べた情報を整理したり、選択したりする力が弱い。	○児童がすすんで問題解決していこうとし、探究的な学習ができるよう単元の構成や進め方を工夫する。 ○様々なゲストティーチャーや、地域、教職員の考え方や生き方を聞く中で、自らの生き方が考えられるような展開を工夫する。